

幕別町 畜産祭り



平成 26 年度の幕別町畜産祭りが 6 月 5 日、幕別町南勢牧場多目的広場に於いて開催されました。連日暑さの厳しい 6 月初旬でしたが、当日は天候にも恵まれ絶好の共進会日和となりました。

町内各地の畜産農家の皆さんが丹精込めて育てた牛馬約 80 頭が出陳され、体型や毛並を競いました。乳牛の部では当組合から「ノース ジェラルデイン ダンデイ ウラミー」号が見事、経産牛・準最高位賞に輝きました。

また、昼食にはバーベキューやお楽しみ抽選会などが行われ、参加者同士の交流を深めました。午後の部の最初には一般の方も参加できる『ジャッジングコンテスト』も行われ、1 日を通して活気のあふれる畜産祭りとなりました。

農村 ホームステイ

6月12日～13日に1泊2日の日程で「農村ホームステイ」が十勝管内の農家で行われ、兵庫県立豊岡総合高校2年生の生徒約240名が十勝の農業の生産現場を体験しました。

この「農村ホームステイ」事業は修学旅行生に農村での生活を体験してもらい生産現場や十勝の一次産業に興味を持ってもらおうと、幕別町では商工観光課が窓口となり平成24年度から実施されています。今年度、幕別町での受入れは6月から9月にかけて3校の高校生（約120名）が予定されています。第1回目となる今回は1クラス39名が幕別町へとやってきました。

12日に糠内コミュニティセンターで行われた入村式の後、札内地区では3名の受入農家の組合員の方々と生徒7名（1班2～3名）が対面、組合員の方々とともに解散しました。6月初旬の暑さの後、雨天の日が続いていましたが、ホームステイの日も両日ともあいにくの天候となり、畑作業を体験することはできませんでした。しかし、幕別町ふるさと館、とかちむら、芽室チーズ工場、柳月スイートピアガーデン等を巡る日程の中で、組合員の方々は「十勝ならではの経験をさせてあげたかった。」とおっしゃっていました。生徒達も「充実した2日間を送ることができ、忘れられない思い出になりました。」と退村式でお礼の挨拶をしました。都会の日常では経験できない十勝の気候と自然の中、組合員の方々との楽しいひと時を送った生徒達は別れを惜しんで涙を流す場面もありました。

JAFバンク 防犯訓練



6月12日、防犯対策の一環として帯広警察署の協力のもと防犯訓練が行われ、金融部の職員が参加しました。

訓練は時間帯以外何も知らされない中行われました。拳銃を持った犯人が突如押し入り現金を要求、車で逃走する犯人へカラーボールの代わりに水の入ったボールを投げ追跡するという内容でした。その後、警察の方からの指導に加え、振込め詐欺の訓練も行われました。

振込め詐欺の対応を実際に体験した窓口職員は「今回の訓練を通して、窓口での声掛けの重要さと巧妙化する詐欺の手口を見抜く事の難しさを再認識しました。訓練の経験を活かし、今後も犯罪を未然に防げるよう努めていきたいと思います。」と話していました。

このような防犯訓練を通して、当JAでは一層の防犯意識を持っていきたいと考えています。

JA 札内ファーマーズマーケット



JA 札内ファーマーズマーケット実行委員会の直売所が今年も始まりました。ファーマーズマーケットの特徴は、生産者自らが来客対応を行い、消費者との交流を深め

ている点です。毎回生産者が店頭立ち、野菜の陳列や消費者への商品説明を行っています。あまりなじみの無い野菜には「どのような特徴があるのか」「どのように調理するのか」といった消費者の質問が多く寄せられます。直売所内の生産者が随時それらの質問に答え、また消費者から要望があった場合は即座に対応するなど人と人とのつながりを重視した店づくりを進めています。

初日の5月3日は開店20分前には長蛇の列が出来ており、開店の合図と同時に店内を埋め尽くす程のお客様がご来店されました。店頭にはハウレンソウや大根、ゴボウ、ネギ、ハクサイといった旬を代表する野菜の他、花卉の苗など多数出品されました。その季節によって店頭並ぶ野菜の顔ぶれが変わっていくのもファーマーズマーケット人気のひとつです。

ファーマーズマーケットは毎週土・日曜日の午前9時から正午までの開店で、連日地域の消費者で賑わいをみせています。

今年は11月30日までのオープンです。7月からはトマト、キュウリ、ナスなどの夏野菜が勢揃いしますので、是非ご利用ください。